



●令和3年第2回市議会定例会を開催されました！！

新型コロナウイルスの感染拡大の歯止めが掛からず、経済への影響が増している状況で、新年度を迎えることとなりました。

令和3年第2回加古川市議会定例会では、新型コロナウイルス感染予防対策を含めた令和2年度補正予算をはじめ、令和3年度事業に関する予算案や条例案件等、各議案について審議を行いました。

市の主な事業を行う一般会計予算では、カピル2 1ビル6階に加古川図書館を移転、5階には勤労会館などの貸館機能を集約するほか、市の窓口機能開設を目指します。また、加古川河川敷イルミネーションイベントの開催、見土呂フルーツパーク再整備事業、ICT（情報通信技術）の活用によるスマートシティーの取組みを加速させる等、過去最大の昨年度に次ぐ923億4,000万円の予算額となっています。予算審議等を通じ、安全で安心な地域社会の実現に向け、様々な意見と「入るを図り、出を制する」視点での市政運営を要請した上で、各議案に賛成し、全ての議案が可決されました。

加古川市はコロナ感染症対策に重点を置きながら、新しいまちの魅力づくり実現に向け、にぎわいの創出と、幸せを実感できるまちづくりに取り組んでまいります。

※ [令和3年度の主な取り組みについては、裏面に掲載しています。](#)

●一般質問を行いました！

■谷 まさやす：「水道事業における老朽配管更新及び耐震化について」

全国的に水道配管の老朽化が喫緊の課題です。本市の基幹管路※（注1）の更新、耐震化計画及び取組みについて質問。

Q：更新・耐震化計画について、更新工事進捗確認を「見える化」できないのか。

A：令和10年度までの目標を加古川市水道ビジョン2028に取りまとめ、管路更新を進めています。個別具体的な更新計画までは周知できておらず、分かりやすい形でホームページに掲載するなど、「見える化」に努めていきたいと考えております。

Q：更新・耐震化計画における優先度についてどのように決めているのか。

A：加古川市老朽配管更新（耐震化）計画において、日本水道協会が定める「水道施設新指針」に基づき、各管路の老朽度、給水量、避難場所や病院への供給ルートを点数化し、優先順位を定めています。

Q：老朽配管の点検・調査はどのように実施しているのか。

A：昭和時代に布設された管路について、漏水の早期発見による有収率向上と大事故防止のため、管路音調検査や監視型漏水調査を毎年行っています。漏水が確認された箇所は規模にかかわらず全て早急に補修しています。

Q：更新・耐震化計画では年間10km。更新工事の拡充はできないのか。

A：加古川市老朽配管更新（耐震化）計画を策定する中で、計画的な更新と更新費用の平準化を検討し、最も効率的に事業費を抑制できる距離が年間10kmとなっています。

※ [引き続き、更新工事の進捗について「見える化」を提言してまいります。](#)

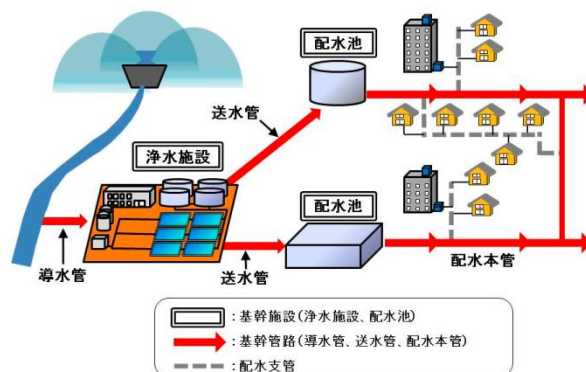


13番 谷 真康 議員



水道施設や水道管の更新・耐震化工事

※（注1）基幹管路とは、水道管の「導水管」、「送水管」、「配水管」のことです。



●令和3年度主な事業について (一部を抜粋)

◆公共施設マネジメント事業：10億7,049万円

JR加古川駅周辺のにぎわい創出と、利用者の利便性向上を目的に、加古川図書館、貸館機能、行政機能の一部をカピル21ビルに移転・集約します。
* 図書館は令和3年10月、市の窓口機能は令和4年春のオープンを目指します。



カピル21ビル



◆ICTを活用した安全・安心のまちづくり推進事業のうち見守りサービス利用促進事業：440万円

従来の認知症高齢者に加え、新小学1年生（令和3年度入学）に対して、1年間無料でサービスの利用ができます。

◆新婚生活支援事業：4,520万円

安心して新生活のスタートを切ることができるよう、市内に住む夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対して家賃、引越し費用などの住宅費用を最高で30万円補助します。
* 今年1月から来年3月末までに結婚し、夫婦合計年間所得400万円未満が条件



見土呂フルーツパーク



◆新生児聴覚検査費補助事業：668万円

新生児が生後間もなく受診する聴覚検査費用の一部を助成し、検査受診率向上と、難聴の早期発見、早期支援に繋がります。

◆見土呂フルーツパーク再整備事業：1,667万円

自然を身近に体験できる観光拠点として、魅力を高める再整備に取り組み、令和5年のリニューアルオープンを目指します。

◆加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくり事業：1,217万円

JR加古川駅から加古川河川敷において、新たな賑わい空間の創造を官民協働で取り組みます。

◆加古川イルミネーション事業：3,500万円

加古川河川敷をあらたな賑わいの拠点として活用するため、誰もが楽しむことのできる光の演出によるイベントを、加古川左岸にて12月に10日間程度開催します。



加古川河川敷



◆情報教育推進事業：1億7,424万円

GIGAスクール構想に基づいた、児童生徒一人一台のパソコン端末配置やネット環境の構築、各教室への大型モニター設置が進み、ICTを活用した教育環境の整備が実現します。

◆中学校給食整備事業：13億6,444万円

神野台給食センターが6月に完成します。9月から加古川、中部、浜の宮、別府、志方、両荘の計6中学校に1日約3,600食を提供し、市内全ての中学校で給食が提供されます。



◆ごみ減量化推進事業：3,380万円

燃やすごみの減量に向け、家庭から出る燃やすごみを対象とする「指定ごみ袋制度」を6月1日から完全実施します。

※今後は指定ごみ袋の購入をお願いいたします。（指定ごみ袋はスーパー、ホームセンターで販売しています。）



指定ごみ袋（左：平型、右：持ち手付き型）

ご注意ください 令和3年6月からは、指定ごみ袋以外の袋で出された燃やすごみは収集できません。

